

投与されていた。CHDF および肝移植は施行されなかった。与芝らの式を用いた劇症化予測では1例を除き一致。予後予測は高橋らの式、武藤らの式、脳死肝移植適応評価委員会のガイドラインを用いて検討した。現在の予測法を組み合わせればかなり正確な予想が可能と思われた。

8) モノクローナル抗体を用いた HBV genotyping

高橋 達・渡辺 孝治
高橋 澄雄・大越 章吾 (新潟大学)
市田 隆文・朝倉 均 (第3内科)

新しく開発された、モノクローナル抗体を用いた HBV ゲノタイプ EIA キットを用いて当科で経験した B 型慢性肝疾患94例の遺伝子型を決定し、臨床像との関連を検討した。判定不能は1例のみで、93例、98.9%に遺伝子型が決定可能であった。遺伝子型は C 型 80.8%、B 型 18.1%で、年齢、男女比の差はなかった。無症候性 HBV キャリアーでは B 型が多く、より病変の進展した例ほど C 型が多かった。また、e 抗原陽性例に C 型が多く、e 抗体陽性例に B 型が多かった。新犬山の F 因子は C 型で高値であり、HAI スコアのカテゴリー I、III、IV が C 型で高値、カテゴリー II が B 型で高値であった。以上の結果から、今後は遺伝子型と、コアプロモーター/プレコア変異との関係を検討する必要があると考えられた。

9) 当院における A 型肝炎発症状況の検討

内藤 彰・田村 康
窪田 智之・白井 大悟
時光 善温・藤原 敬人 (県立中央病院)
山崎 国男 (内科)
青柳 豊 (新潟大学)
第三内科

【目的・対象】1980 - 1999 年の当院における急性 A 型肝炎による入院患者68名 (M35, F33) 平均 38.6 ± 11.9 歳 (mean ± SD, 14 - 68 歳) につき検討を行い、疫学変化、加齢変化の検討を行った。

【結果】年度別発症患者数では '84, 90, 91 年に流行年の存在を認めた。月別発症患者数では 2, 3 月をピークに発生の集中を認め、近年の季節性消失は認めなかった。発症年齢は 80 年代 34.1 ± 12.5 歳、90 年代 41.5 ± 10.7 歳 (p < 0.05) と上昇を認め、40 歳代にピークが移行した。各検査項目の検討では、加齢に伴い GPT 正常化

日数延長、TB 最高値の上昇傾向を認め、%PT 最低値は低下傾向を認めた。加齢と、GPT 最高値、TB 正常化日数間には相関関係を認めなかった。

【考察】今後、集団発生、重症化例の増加が危惧され、ワクチンの使用も考慮すべきである。

10) 重症型急性 A 型肝炎の 1 例

白井 大悟・窪田 智之
時光 善温・内藤 彰 (県立中央病院)
藤原 敬人・山崎 国男 (内科)

急性肝炎の中には、プロトロンビン時間 (PT) が 40%以下を示しながら明らかな肝性脳症をみない急性肝炎重症型 (AHS) がある。

症例は 38 歳の男性、'98 年 10 月生がきを摂取、11/2 より全身倦怠感、悪心、嘔吐、高度の肝機能異常を認め、11/6 当院紹介受診となった。入院時の疫学不明な段階での予後計算を与芝の式で行ったところ 67% の劇症化が予測された。IVH 穿刺部位などから出血が持続し、入院後 6 時間の %PT の再検では、6.1% の急速な低下を認めたため、同夜より血漿交換療法を中心とした集学治療開始、4 回の血漿交換にて肝機能の改善傾向を認めた。後日判明の IgM 型抗 HA 抗体は陽性であった。劇症肝炎への移行が高率に予測される場合、早期積極的な治療が重要であると思われた。

11) PBC - AIH overlap 症候群の 2 例

小林 由夏・横田 隆司
倉岡 賢輔・松林 宏行 (立川総合病院)
飯利 孝雄・七條 公利 (消化器内科)

症例は 66 才女性。黄疸を主訴に、平成 11 年 12 月当科入院となった。検査所見上 t-Bil 5.8 mg/dl, GOT 236 U/l, GPT 263 U/l, ALP 1127 U/l, LDH 1360 U/l, γ-GTP 791 U/l の上昇をみとめ、ANA 1280 X, AMA 160 X 陽性であった。腹部 CT 上肝両葉の腫大をみとめ、慢性肝疾患と考えられた。

肝生検組織にて、門脈の線維化、胆管消失、小円形細胞浸潤、小葉内の piecemeal necrosis をみとめ、組織学的に PBC - AIH overlap 症候群と診断した。

UDCA 600 mg/day, bezafibrate 400 mg/day に加えて、overlap 症候群の 5 割強に有効とされる corticosteroid 療法を導入した。PSL 20 mg/day より開始し、現在 10 mg/day に tapering しつつ投与中であるが、